

学園だより

社会福祉法人 至誠学園立川

至誠学園

平成22年7月25日

〒190-0022 東京都立川市錦町 6-26-15

TEL 042-524-2601 FAX 042-524-2367

<http://www.shiseigakuen.org/> Email: info@shisei.org

発行 児童事業部 広報委員会

沙羅の木に美しい花が咲きました



慶應義塾大学ライチウス OB 会の皆様より、至誠大地の家開設の記念樹として植えていただいた沙羅の木(シャラノキ・夏椿)に美しい花が咲きました。
(平成22年6月26日撮影)



(左)
昨秋の「至誠大地の家」開設時の植樹の様子

進化する至誠学園

様々な方向からの試みー

参議院選挙が終わり、街には静けさが戻ってまいりました。いつも学園の運営のためにご支援をいただき感謝いたします。

さて、平成22年度第一号の学園便りをお届けします。100周年プロジェクトの至誠大地の家も昨年10月開設され、おかげさまで約半年が過ぎ、子どもたちの生活も定着してきました。幼い子どもたちからの愛着関係の求めにどのように応じるか、個々の子どもたちに対する愛情表現をスタッフとともに考えているところです。

当学園にて昭和27年よりボランティア活動をしてくださっている慶應義塾大学ライチウス会は、今年で80周年を迎えられます。当初は旧建物のかたづけから庭の整理、畑作業など労働奉仕でしたが、マンツーマンの個別学習指導活動に活動の主流が変わったのはすでに40年も前のことです。学生の方々が、一人ひとりの子どもたちに寄り添って下さることは学習支援のみならず、子どもたちの人格形成の上でも、また、学園スタッフの

チームメンバーとしても心強い存在となっています。学力を身に付けることは生きる力につながりますし、中学・高校生活を充実させるには大学進学も有効です。

今日、社会経済情勢は二極化が進み、「子どもの貧困」「子どもの格差」などということばが使われ、児童相談所からの措置や一時保護委託も増えています。

子どもたちの自立に向けて積極的な自立支援プロジェクトを今年から立ち上げました。20数名の高校生を対象に、ゴールドマン・サックス証券株式会社様より資金援助をいただき、卒園生友の会、NPOの協力により、社会で生活する能力を育てること、大学進学にチャレンジすること、安心した社会生活を営む人間関係を構築することを主な目的としています。

また、当園が児童養護施設開設60周年の11月には記念の会を予定しています。

(高橋利一統括学園長)

平成21年度 事業報告・決算報告

児童事業本部

重点項目として 子どものエンパワメントや家族へのサポートを目的として、低年齢児中心の「至誠大地の家」を新設、東京都による生活環境改善のための事業で、受水槽の撤去、門扉の新設をしました。外構工事や園庭整備は22年度に予定しています。

至誠学園 <児童定員 82名>

国及び都の掲げる社会的養護に関する基本方針に則り、子どもの権利擁護の更なる推進として、小規模な家庭的養育環境の推進に一層の力を注いできました。4月より小規模グループケア地域型ホーム「並木の家」を、世代間交流の自然な生活の中での実現を目指し、至誠ホーム「ミンナ」と同一敷地内(国分寺市)に開設しました。これにより、地域におけるグループホームは合計8ヶ所、生活する児童は48名となりました。さらに、本園内各ユニットは児童数を8~10名として、一層の小規模化を進めることができました。都は増加する治療的・専門的ケアが必要な児童への支援をすすめるため、専門機能強化型施設を大幅に増やすとともに、児童に対し手厚い支援ができる体制等の整備をおこなってきました。昨年度に引き続き、当園でもこの指定を受け、このことにより、従来の児童精神科医師、治療指導担当職員に加え、小規模ユニットへのケア職員の増配置をうけることができ、支援内容の充実化をはかることができました。「至誠大地の家」の開設にともない、役割の分担、人事交流、研修、行事等の共同開催などについて、児童事業本部を中心とした運営のあり方を模索、検討、試行をおこなってきました。

至誠大地の家 <児童定員 30名>

平成21年10月1日、低年齢児を中心とした定員30名の児童養護施設として開設しました。

安定した運営のために、至誠学園と児童のプログラムの連携、心理職員の連携による治療体制づくり、職員間の関係構築を図りました。

児童への援助では、モンテッソーリ理論を生かし、安心安全な場所としての生活環境を整える、子どもの発達への理解に対する研修、専門的適切なケアの構築と提供(児童精神科医による職員研修、心理職員による児童のアセスメント、家庭復帰促進、学習ボランティアの募集)、地域における環境づくりを実施しました。

まことくらぶ

平成21年10月1日に、障害者自立支援法による障害福祉サービス事業所として、東京都より指定を受け、サービスの内容は就労継続支援B型、定員20名で事業を開始しました。新体系への移行に際しては利用者並びに家族、関係者への制度や事業所の方針の説明などを丁寧に行いました。利用者一人当たりの平均工賃は1ヶ月11,000円でした。平成21年7月7日に東京都の実地検査を受けました。

児童事業本部 決算

収入の部	収入 計	支出の部	支出 計
寄附金	28,075,945	運営費	12,227,392
積立預金取崩	105,000,000	固定資産取得	2,088,000
法人内資金移動	5,000,000	法人内資金移動	141,069,000
その他	16,877,390	当期繰越金	431,057
収入 計	154,953,335	支出 計	154,953,335

至誠学園 決算

収入の部	収入 計	支出の部	支出 計
事務費	346,672,554	事務費	351,673,155
国	198,488,638	人件費	292,118,145
東京都、立川市	148,183,916	事務費	59,555,010
事業費	81,135,131	事業費	83,264,983
国	61,958,991	食費	29,961,534
東京都	19,176,140	教育費	18,340,130
		行事/余暇活動	8,676,171
		光熱費	13,001,828
		他生活費	13,285,320
寄附金	4,651,292		
借入金利息補助	1,760,880	借入金返済	20,079,230
借入金収入	10,000,000		0
施設整備補助金	11,224,000	固定資産取得	9,826,280
その他	11,316,825	当期繰越金	1,917,034
収入 計	466,760,682	支出 計	466,760,682

至誠大地の家 決算 (施設整備費を含む)

収入の部	収入 計	支出の部	支出 計
事務費	66,987,471	事務費	53,900,870
国	47,647,971	人件費	40,309,246
東京都	19,339,500	事務費	13,591,624
事業費	6,530,260	事業費	9,238,305
国	5,165,260	食費	1,709,455
東京都	1,365,000	教育費	72,132
		行事/余暇活動	218,207
		光熱費	1,102,844
寄附金	10,550,000	他生活費	6,135,667
法人内資金移動	129,019,000		
借入金利息補助	534,978	借入金返済	567,767
借入金収入	124,800,000	固定資産取得	388,396,585
施設整備補助金	123,371,602	積立預金積立	9,000,000
その他	334,532	当期繰越金	1,024,316
収入 計	462,127,843	支出 計	462,127,843

まことくらぶ 決算

収入の部	収入 計	支出の部	支出 計
授産事業活動の部	7,190,827	授産事業活動の部	9,939,002
授産事業	7,190,827	授産事業	9,939,002
福祉事業活動の部	25,133,184	福祉事業活動の部	24,478,842
運営費収入	12,543,104	人件費支出	20,592,892
自立支援費収入	9,452,800	事務費支出	1,881,558
利用者負担金収入	105,750	事業費支出	1,500,000
経常経費補助金収入	2,847,535	その他	199,560
その他収入	183,995		
施設整備等の部	158,550	施設整備等の部	158,550
施設整備等補助金	158,550	備品取得支出	158,550
財務活動の部	8,000,000		
長期借入金収入	8,000,000	当期繰越金	5,906,167
収入計	40,482,561	支出計	40,482,561

平成22年度 事業計画・予算計画

児童事業本部

子どもと障がい者の権利擁護や自立のために生活環境を整え、子どもの身体的、精神的成長を援助します。

子どものエンパワメントや家族へのサポートを通して、児童と家族が地域で安心して暮らせるように、様々なサービスを提供します。

至誠学園 <児童定員 82名>

今年度事業の重点目標は、1. 至誠センチュリープロジェクトの最終段階としての園庭の芝生化を始めとする園庭整備事業、2. 職員の専門的スキルの養成、3. 各種会議の運営手法の改善、4. 職員のワーク&ライフバランスを考えた職場環境づくり、5. サテライト型児童養護施設による新たな養護体系の構築、6. ボランティアの積極的受け入れとその養成、7. 第三者評価の結果を基本にサービスと信頼性の向上に努める、8. 苦情解決システムを活用して、児童やその家族からの意見聴取に努め、的確なニーズ把握と迅速な対応を心掛けます。また、児童が安心して生活するための更なるシステムづくりを行います。9. 園内職員研修会、シンポジウム、職員個々の実践研究活動をまとめた紀要を発行します。

専門機能強化型施設として、子どもの権利擁護を基軸に、ファミリーソーシャルワークも含めての専門的かつ適切な個別ケアの構築と提供をさらに推進します。

至誠大地の家 <児童定員 30名>

運営管理面では、1. 業務の標準化の推進、2. 財政面での管理(償還金返済開始への準備)、3. 日常業務(研修、防災、行事、安全管理など)の至誠学園との連携、4. 福祉サービス第三者評価の受審をすすめます。

養護実践では、1. 子どもと家族の援助(・モンテッソーリ理論を基盤にして、・子どもの個別発達に合わせた日常生活の練習と楽しい遊びの提供、・子どもの健康への配慮、・心理職員による定期的面接、・苦情解決第三者委員の設置と周知) 2. 職員の専門性向上への取り組み(スタッフ養成仕組みづくり、家庭復帰に向けた親子交流プログラム、就学児への学習サポート、児童の健全育成への行事参加) 3. 地域における環境(地域活動への参加、子育て支援活動の検討など)をすすめます。

まことらぶ <利用者定員 20名>

運営管理としては、1. 就労継続支援B型事業の充実 2. 就労支援プログラムの実施、3. 余暇支援事業の仕組み作り、4. 利用率の向上、5. 人材育成、6. ボランティアの育成支援。利用者支援としては個別支援計画にもとづいた支援、スタッフの専門性の向上を目指しています。特記事項は、ショップ「リーフ」の外装工事(オーニングの設置並びに段差解消のためのウッドデッキ設置)です。

児童事業本部 予算

収入の部	収入 計	支出の部	支出 計
寄附金	20,000,000	運営費	11,307,000
その他	10,267,000	借入金返済	500,000
		法人内資金移動	7,260,000
		予備費	11,200,000
収入 計	30,267,000	支出 計	30,267,000

至誠学園 予算

収入の部	収入 計	支出の部	支出 計
事務費	341,868,000	事務費	330,452,000
国	204,777,000	人件費	285,724,000
東京都、立川市	137,091,000	事務費	44,728,000
事業費	81,513,000	事業費	82,971,000
国	61,154,000	食費	29,209,000
東京都	20,359,000	教育費	19,478,000
		行事/余暇活動	8,807,000
		光熱費	11,268,000
		他生活費	14,209,000
寄附金	2,280,000		
借入金利息補助	1,541,000	借入金返済	20,777,000
法人内資金移動	3,517,000		0
その他	6,520,000	予備費	3,039,000
収入 計	437,239,000	支出 計	437,239,000

至誠大地の家 予算

収入の部	収入 計	支出の部	支出 計
事務費	138,770,000	事務費	126,349,000
国	95,178,000	人件費	115,689,000
東京都	43,592,000	事務費	10,660,000
事業費	22,102,000	事業費	22,592,000
国	15,370,000	食費	10,686,000
東京都	6,732,000	教育費	655,000
		行事/余暇活動	2,862,000
		光熱費	3,780,000
寄附金	50,000	他生活費	4,609,000
法人内資金移動	0		
借入金利息補助	1,405,000	借入金返済	2,097,000
借入金収入	0	固定資産取得	950,000
施設整備補助金	0	積立預金積立	3,000,000
その他	2,262,000	予備費	9,601,000
収入 計	164,589,000	支出 計	164,589,000

まことらぶ 予算

収入の部	収入 計	支出の部	支出 計
授産事業活動の部	9,000,000	授産事業活動の部	9,000,000
授産事業	9,000,000	授産事業	9,000,000
福祉事業活動の部	31,175,000	福祉事業活動の部	31,075,000
運営費収入	0	人件費支出	26,855,000
自立支援費収入	26,400,000	事務費支出	2,320,000
利用者負担金収入	240,000	事業費支出	1,700,000
経常経費補助金収入	4,200,000	その他	200,000
その他収入	335,000		
		予備費	100,000
収入計	40,175,000	支出計	40,175,000

子どもたちの生活から

ガーデンパーティー開催

5月2日に「大地に咲かせよう！！笑顔の花」をテーマとして、こども達の健やかな成長を祝うガーデンパーティーを開催しました。今年は『至誠大地の家』も加わり、2月末より大地の家と学園の各職員とボランティア団体代表による実行委員会を発足させ、企画から実行までの話し合いを重ね、ワークキャンプを経て当日を迎えました。

園庭と周辺の敷地を使い、各団体による遊びのコーナー、食事のコーナー、ステージなどのプログラムで、今年は総勢 800 名ほどの参加となりました。天候にも恵まれ、大盛況に終了することができました。今年も多くの方々をお迎えし、児童福祉週間の啓発活動の一環として活動を行うことができたことは大変嬉しく思います。多くの方々にご支援・ご協力をいただきましたことに心より感謝を申し上げます。



写真下ブロック:

- ・起震車の実演
- ・全員でフォークダンス
- ・園芸療法 スタッフより指導を受けた「子ども店長」による説明



写真右ブロック:

- ・いつも学園を支援してくださっている方々
- ・法政大学チアリーディングのステージ
- ・ボーイスカウトによる根川でのカヌー



新年度式

4月5日、昨年度3学期に頑張った子どもへ、成績UP賞・無遅刻無欠席賞・幼児さんがんばり賞・早起きがんばり賞の表彰、各ホームのメンバー紹介、そして新一年生の紹介と贈呈式を行いました。

母の日の会・父の日の会

5月9日・6月20日、いつもお世話になっている男性職員、女性職員に対して子どもたちが一緒にゲームをして、日頃の感謝の気持ちを伝える機会としました。

子どもの日

5月5日、子どもたちが楽しめる遊びを計画して、子どもたちは職員と一緒に楽しい1日を過ごしました。



いなげやさんお料理コンテスト

4月18日、いなげや労働組合さま主催の料理コンテストが行われました。

12ホームそれぞれが献立を考え、電卓片手にお店へ買い物に行き、いなげやさんと一緒にお料理作りをしました。コンテストは本園のホームのみでしたが、それぞれとても美味しいお料理ができました。



学園のアクティビティ活動

- ・ 絵画教室 竹中潔先生 月1回
- ・ 音楽教室 印牧由規子先生 週2回
- ・ 創作ダンス 秦野句子先生 週1回
- ・ 週末のバンド活動 卒園生の指導 週1回
- ・ 各種スポーツ活動(学園職員の指導)
野球、ドッチボール、バレーボール

子どもたちの海外交流

アメリカ大使館の方々と

4月2日、アメリカ大使館の方々が来訪し、子どもたちと一緒にイースターのお祝いをしました。



日韓交流セミナー

6月9日、ソウル児童福祉施設協会と東京都社会福祉協議会児童部会の交流事業として韓国の方々をお迎えし、交流セミナーを学園のホールで都内施設長の方々と行いました。学園では12日までメンバーのお一人をお迎えし、めじろホームの子どもたちがホスト役となつてともに生活をしました。今夏は、学園の高校生がお訪ねすることになっています。



サンデーマーケット開催

7月4日にいつものバザーを縮小した形の『サンデーマーケット』を行いました。小さなテントがお店で学園直営店と各ホームや各団体の出店で、天候が心配されましたが、晴天に恵まれ、子どもたちのパワーに改めて感謝です。



まことくらぶ HOW to タイム

7月は七夕のペープサートと七夕飾りを行いました。



子どもたちの生活を支える活動から

ラジオ体操クラブ結成

学園では毎朝6時半よりラジオ体操をしていましたが、子どもたちの自主的活動として、このたびクラブを結成することになりました。顧問は学園長です。

アートワークショップ

子ども地球基金のみなさんのお力添えで、クローチアの子もたちと数年前より絵画を通して交流しています。6月5日は、ゴールドマン・サックス証券株式会社のみなさまのご協力で、子どもたちと大きなキャンパスに富士山と桜の絵を描いて送りました。



写真左：
富士山とさくらの大作
ただいま制作中
6m x 3m
下：完成！



第三者評価を受けました

今年も(株)IMS ジャパンによる第三者評価を受け、その結果が公表されました。

至誠学園の実践が特に評価された点

- 児童養護で求められている課題に先駆的に取り組み、子どもの最善の利益につなげている。
- 児童の健全育成が大切なテーマとされる街づくりに向けた取り組みの実践。
- 卒園生による「友の会」の結成とその活動。

この評価はホームページで確認できます。

福ナビ とうきょう福祉ナビゲーション
福祉サービス第三者評価

<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/hyoka/hyokatop.htm>

苦情解決委員会

今年度6月末現在までの委員会としての活動は0件でした。学園の様々な行事の折に、子どもたちの生活の様子をごらんいただき、子どもたちの成長を見守ってくださっています。木津川迪治さん(弁護士) 名取種子さん(立川市人権擁護委員) 石川親治さん(元立川市立第三中学校教諭) の皆様です。

「モンテッソーリ立川子どもの家」のお部屋がきれいになりました

12年使った教室、トイレ、床のフローリング、壁などの張替え、ウッドデッキの新設、家具の教具の購入、修理で風や光の入る心地よい環境を整えました。至誠学園・至誠大地の家の幼児、合計27名(2歳~5歳)が、モンテッソーリ教育法による保育(日中)で生活しています。

子どもの家園長:高橋久美子
 教師:後藤恭子・森山義明・高橋恵・杉田ひろ子
 至誠学園・至誠大地の家の合同スタッフです。

特別プログラム

- ・英語 宮田和子先生 ・日本舞踊 花柳小春晶先生
- ・体操 森山義明先生 ・リトミック 福島みゆき先生
- ・ペーパーアート 高橋利之先生

かねてから環境整備を考えていましたが、この春休みから新学期を少し遅らせて、思い切って子どもの家全体をリニューアルしました。明るく広くなったお部屋で子どもたちはのびのびと楽しくおごと(保育活動)に励んでいます。
 (子どもの家園長 高橋久美子)



写真左上:プール 7/15
 写真右上、下:モンテッソーリ教具を用いた活動

園庭工事

今年の夏に、外溝工事と園庭の芝生工事、砂場づくり工事が予定されていますが、この資金の目途がつかず、資金づくりをしているところです。

ゴールドマン・サックス証券株式会社の社員の皆さんがチャリティランとして2010東京マラソンに出場くださり、見事に完走され、工事資金の一部としてご寄附下さいました。

お花植え

3月、ゴールドマン・サックス証券株式会社の社員の方々と、至誠大地の家の子もたちとで、プランターにきれいなお花を植えました。お花が元気に育つようにとみんなで心を込めてお庭をつくりました。

卒園生 ご結婚おめでとうございます。



卒園生の忍さんが6月末に結婚され、学園長夫妻と職員が招かれました。ご主人の家族の一員に迎えられた姿に未来の平安を祈りたいと思います。幸せそうな姿を見て、学園で生活していた頃の姿が懐かしく思い出されました。お幸せに。

高校生のための自立支援プログラム

自立を控えた高校生のためのプログラムを実施しています。6月は皆の好物で手軽に作れるパスタを中心としたメニューの調理実習でした。7月は、社会人として活躍されている学園の卒園生お二人にお話を聞くことができました。これから自立を考えている高校生にとって、身近な先輩のお話は参考になったと思います。

卒園生友の会の真壁一郎会長さん、高橋一紀事務局長さんを始めとする皆様のご協力をいただきまして、ありがとうございました。夏休みは合宿(国立オリンピック記念青少年総合センターにて)も計画しています。

学園で生活していたとき、どのように感じて、どうしたかったのか、家族のこと、将来のこと、大学進学を園長先生に勧められたことなど、体験に基づいた率直なお話は、職員にとっても非常に貴重なお話でもありました。



写真左上:6/13に行われた調理実習では栄養士で調理師でもある高橋久美子事務局長が講師。卒園生友の会の方々も一緒に。
 写真右上:7/11に卒園生の高橋一紀事務局長さんの司会で行われた卒園生のお話を聞く会。

高校生の夏休み行事

- ・YE プログラム参加 (立川ライオンズクラブ様のご招待)でオーストラリアへ
- ・テレビ朝日事業団主催海外青年の旅 アメリカシアトルへ
- ・自分の長年の夢を実現し韓国へ
 小学生の頃からおこづかいを貯めて実現しました。



三人それぞれ目的地も違いますが、皆様のご協力により、それぞれの夢をかなえることが出来ました。ありがとうございました。
 (左)7/16オーストラリアへ出発

東京都専門機能強化型施設としての報告会



学園では平成 17 年度東京都家庭的養護進モデル事業の指定を受け、その実施と検証を毎年積み重ねてきました。その結果、東京都の制度となりましたが、本年度は、その5年間のプロセスを検証しながら、実践報告を6月23日に行いました。当日は東京都、川崎市、相模原市、立川市の各行政関係者、他施設関係者、学園、大地職員の計61名の皆様のもと、学園長より社会的養護の概要と制度政策へのプロセスを、石田芳朗施設長、板井貴宏医師、奥村晴子臨床心理士、清水豪治療担当指導員からの発表がありました。

高橋利一統括学園長の近況

「至誠大地の家」の建設が一段落し、法人や学園の経営が忙しいなか、今まで「手がかからなかった子どもたち」に手をかけることを自立支援として取り組んでいます。

子どもの格差の連鎖を断ち切ることが当面のテーマです。各地の講演や審議会など忙しいなか、4月から毎朝、子どもたちと一緒にラジオ体操に取り組んでいます。

(統括学園長 高橋利一)

主な行事予定

夏休みの主な予定

- ・スポーツ
 - 8/5 東社協 バレーボール、ドッチボール大会
 - 7/28~29 江戸っ子杯野球大会
 - 8/21 6プロバレー 8/23 6プロ野球大会
- ・地域活動
 - ボーイスカウト、ガールスカウト 各キャンプ
 - ボーイスカウト日本ジャンボリー参加
 - 7/17,18 錦町盆踊り、8/21 立川諏訪祭り
- ・臨海行事 勝浦へ
- ・ご招待 プロ野球(ヤクルト、ジャイアンツ) 日生劇場など
- ・YE プログラム参加 7/16~8/13 オーストリア
- ・TV 朝日高校生海外生活体験の旅 7/22~30 アメリカ・シアトル
- ・二学期スタートの会
- 学園の行事
 - 11/15 七五三
 - 11/19 学園開設60周年児童虐待防止月間記念セミナー 立川市民会館にて

新しいグループホーム「日野ビレッジ」開設



至誠大地の家開設に伴い、幼児のグループホームのレオを閉じ、新しくグループホーム「日野ビレッジ」を日野市内に開設しました。小学校のすぐ近くのホームです。小学生から高校生まで6人の子どもたちが4月から生活しています。

今年度の職員専門研修の予定

- ・高橋利一学園長
児童福祉制度政策 社会的養護の課題
- ・皆川邦直先生(法政大学)
上級研修 困難事例のケースカンファレンス
- ・金子保先生(淑徳大学)
「至誠学園の理念とケアワーク」をテーマとして、新入職員、2年目職員を中心に実施
- ・西澤哲先生(山梨県立大学)
「入所児童の心理理解と援助」をテーマに実施予定
- ・小野純平先生(法政大学)
入所児童の学習への支援
- ・川井尚先生(至誠大地の家)
家族支援
- ・高橋久雄先生(昭和女子大)
ソーシャルワーク援助技術 実施予定
- ・板井貴宏先生(至誠学園) 実施予定

各先生方を講師をお願いして計画しています。

法人職員表彰 永年勤続 15年 G先生

ナース愛児センターから学園に移動して15年、このたび法人永年勤続表彰をいただき、改めてモンテッソーリ教育に取り組んでまいります。ありがとうございました。これからもご指導よろしくお願ひします。

編集後記

学園に隣接する市営球場では、高校野球西東京予選が毎日繰り広げられ、甲子園なみの応援合戦が聞こえてきます。青春を謳歌している高校生たちに日本の未来を感じます。時節柄、どうぞ皆様ご自愛くださいませ。

広報委員会は新しいスタッフになりました。今年度もよろしくお願ひします。

(広報委員会一同)